

第42回群馬県脳卒中医療連携の会本会議 議事要旨

◇日時：令和5年7月25日（火）18：30～

◇開催形式：Webによる開催

◇出席者：239名

◇議事進行：黒沢病院

脳神経外科 小倉 丈司

◇記録：公立藤岡総合病院

患者支援センター 川井 大輔

1. 開会

2. あいさつ

（本会代表世話人 顧問 朝倉 健）

当番病院の高崎総合医療センター、黒沢病院、藤岡総合病院、富岡総合病院のスタッフの皆様方本当にありがとうございます。今回は昨年度の実績報告や富岡総合病院の特別講演と盛りだくさんの内容で非常に楽しみにしております。本日はどうぞよろしく願いいたします。

3. 一般演題

（1）2022年度計画管理病院 実績報告

演者：前橋赤十字病院 リハビリテーション課長 水野 剛

2022年度におけるバス適応患者数、疾患別実績、疾患別集計、疾患・重症度別集計、疾患ごとの平均在院日数、連携先病院別受け入れ実績、連携病院終了者の退院先について発表された。

（2）連携病院事例報告

①『当院における群馬脳卒中地域連携パスの実績報告』

演者：善衆会病院 リハビリテーション科 柏崎 翔（理学療法士）

病院紹介をはじめ、2018年～2023年の実績データ（計画管理病院からの受け入れ実績、FIM利得、バリエーション、転帰、退院先）の報告と、重症コースの症例を発表された。

②『当院における脳卒中地域連携パスの実績報告』

演者：伊勢崎福島病院 リハビリテーション科 林 英里奈（理学療法士）

病院紹介をはじめ、褥瘡回診や褥瘡委員会、摂食嚥下チームの立ち上げといった取り組み、2016年～2023年の実績データ（計画管理病院からの受け入れ実績、FIM利得、転帰、退院先）の報告と、中等症コースの症例を発表された。

(3) 第42回 世話人報告

(前橋赤十字病院 地域医療連携課長 高橋 佑介)

①脳卒中地域連携パス実績報告のデータ抽出基準について

期間内に入院した患者を対象にデータ抽出していたが来年度から退院した患者を対象にデータ抽出をおこなうことを提案し承認を得た。

②院内発症した脳卒中患者のパス適応の可否について

原則として他疾患で入院し脳卒中を発症した患者のパス適応は不可とすることを提案し承認を得た。

③連携病院の症例発表について

45回目以降の症例発表をおこなう病院について報告。

4. 特別講演

『脳血管障害(脳梗塞)当院の現状～リハビリの現状と認知症ケアの視点から～』

演者：公立富岡総合病院 健診センター センター長 岡本 一真 先生

瀧澤 瞳(理学療法士)・萩原 昌樹(認知症看護認定看護師)

高齢化に伴う脳卒中の発症と群馬・富岡地域の医療の現状、富岡総合病院のリハビリ・認知症ケアチームの取り組みについて、ご講演をいただいた。

5. その他：特になし

6. 次回当番病院と開催日

当番病院：前橋赤十字病院 太田記念病院 桐生厚生総合病院 館林厚生病院

本会議は対面による開催を1月に予定。

7. 閉会の辞

公立藤岡総合病院 脳神経外科 部長 若林 和樹